

1.診療科紹介（専攻医・後期研修医向け）

項目	内容
① 診療科名	産婦人科
② 診療科の特徴	産科領域（経膈分娩や帝王切開など）も悪性疾患や良性疾患を含む婦人科疾患全般まで幅広く経験できます また精神科や内科と連携して、HIV 感染や精神疾患、血液疾患や膠原病疾患合併の周産期管理も行っています
③ 診療科のモットー	育児と仕事を両立しながら妥協しない医療を提供する
④ 診療内容・実績 (2019年4月時点)	毎日外来を基本2診で行っています 火曜日午後、木曜日終日が手術日になっています 2018年度分娩件数 143件（うち帝王切開 36件、HIVの帝王切開 3件含む） 開腹婦人科良性手術（腹式子宮全摘、附属器摘出・核出、筋腫核出など）47件 経膈婦人科手術（子宮脱手術、マンチェスター手術、膈閉鎖など）5件 婦人科悪性腫瘍手術（広汎子宮全摘術、拡大子宮全摘術、卵巣悪性腫瘍手術など）19件 腹腔鏡手術（卵巣良性疾患、子宮外妊手術など）13件 円錐切除術 14件 子宮内搔把術 23件 近隣施設の分娩受入状況の変動もあり、分娩件数は上昇傾向です(2014年度 93件、うち帝王切開 25件)。 2019年度は180件を超える予想です。
⑤ 診療体制 (2019年4月時点)	日本産婦人科学会専門医 4名 日本産婦人科学会指導医 1名
⑥ 診療科カンファレンス	毎週火曜日：大学医師とのカンファレンス 毎週水曜日：腫瘍内科との合同カンファレンス 不定期（月2回程度）手術カンファレンス 他不定期に病棟カンファレンスも行っています
⑦ 経験できる疾患	産婦人科疾患全般 妊娠～出産を含む産科疾患（NICUが必要な状態は除く）、 子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍、子宮脱、 子宮外妊娠、更年期症候群、不妊治療（人工授精まで）、卵巣機能不全や高プロラクチン血症などの婦人科内分泌異常など
⑧ 経験できる技術・技能	産科：経膈分娩、帝王切開、急遂分娩（吸引・鉗子）など 婦人科：腹式・経膈子宮全摘、附属器摘出・核出、筋腫核出、子宮脱手術、マンチェスター手術、膈閉鎖、腹腔鏡種手術（附属器摘出・核出、子宮外妊手術）、 広汎子宮全摘、拡大子宮全摘、卵巣悪性腫瘍手術など
⑨ 学会について	日本産婦人科学会
⑩ その他	夜間・休日は待機制で、休日は大学からの応援を受けて2人体制の待機を行っています

2. 専門研修プログラムで採用の場合

項目	内容
① 基幹施設	名古屋大学医学部附属病院
② 取得可能な専門医	日本産婦人科学会専門医

4.指導責任者より専攻医・後期研修医へメッセージ

スタッフ4名全員が育児中であり、お互い助け合いながら育児と仕事の両立を目指し、大変働きやすい環境です。NICUはありませんが、精神科や内科合併妊娠、特に HIV 感染妊娠など当院ならではの貴重な症例も経験できます。婦人科では子宮の腹腔鏡手術は行っていませんが、良悪性問わず幅広い症例を取り扱っています。不妊治療は専門的には行っていませんが、名古屋大学医学部附属病院のプログラムに入るため、大学病院で当院では行っていない分野を補填することが可能です。スタッフの人数が少ないため、即戦力として活躍できることと思います。是非、見学に来られることをスタッフ一同お待ちしております。